

数学

<全体分析>

試験時間	80分	解答問題数	6題
------	-----	-------	----

解答形式

〔1〕、〔2〕、〔3〕はマーク式 〔4〕、〔5〕、〔6〕は記述式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化）

出題の特徴

典型的な問題が中心である

その他トピックス（入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など）

試験時間に対して、問題数・計算量とも多い

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
〔1〕	整数	数学A	不定方程式	標準
〔2〕	確率	数学A	さいころ 重複組合せ、二項定理	標準
〔3〕	数列	数学B	数学的帰納法 和の計算、桁数	標準
〔4〕	空間ベクトル	数学B	共線条件 軌跡の図示、面積の最小値	やや難
〔5〕	対数関数	数学II	対数方程式、点対称 三角関数の最大・最小	標準
〔6〕	微分・積分	数学II	3次式の決定 3次関数の最大値、求積計算	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準的な問題が出題の中心であり、分野に偏りが少ないので、教科書を中心に各分野万遍なく学習することが望ましい。

今年は〔2〕の確率のように数え上げるのに時間がかかるものや、〔4〕のように題意を読み取るのに手間どる問題が出題された。日頃からきちんと学習対策を立てておきたい。

なお、英数のマーク式の部分が一定の点数に達しないと、〔4〕～〔6〕の記述部分は採点されないので注意が必要である。